

Q 4) 平取ダム建設にあたって、どのように自然環境保全に取り組んでいるのか教えてください。

【回答】

- ダム建設にあたり、直接的な改変により影響が予測されるもの、ダム湛水による環境の変化で間接的に影響が予測されるものについて、影響の回避・低減を図ることとしています。
- 動物については、工事の実施及びダムの存在により影響が予測される重要な種がいるため、工事中のモニタリング、生息環境の確保など、必要な環境保全措置を実施します。
- 植物については、工事の実施及びダムの存在により影響が予測される重要な種がいるため、移植、播種など、必要な環境保全措置を実施します。
- これまでに、ハヤブサの工事中のモニタリング、エゾサンショウウオのモニタリング、フクジュソウ、カタクリ、オクエゾサイシンなどの重要な植物の移植を実施しております。
- 引き続き、専門家の指導・助言を得ながら必要な環境保全措置を講じていくとともに、必要と思われる調査やダム完成後のモニタリングを行っていくなど適切な対応をはかり、環境保全に努めていきます。
- 詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



写真-1 猛禽類調査状況



写真-2

エゾサンショウウオのモニタリング状況



写真-3 重要な植物の調査状況



写真-4 重要な植物の移植状況（掘り採り）



写真-5 魚類調査状況



写真-6

平取ダム環境調査検討委員会開催状況